



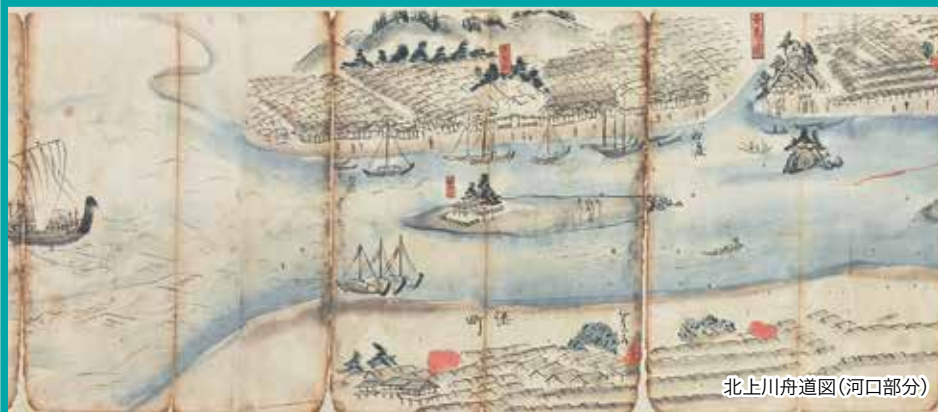
## 第25回・企画展



北上川舟道図(黒沢尻付近)

# 北上川・陸と海を結ぶ道

## — 江戸時代の舟運 —



北上川舟道図(河口部分)

## 会 期

平成30年 9月15日(土)

11月25日(日)

9/15(土)・10/10(水)・27(土)・28(日)・11/3(土・祝)は無料でご覧いただけます。

●休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

岩手県岩手町の<sup>ゆほす いすみ</sup>弓弭の泉に源を発して南下し、宮城県石巻市に注ぐ一級河川「北上川」。

人々は東西を分断され、洪水などの水害に悩まされましたが、その豊かな水から、多くの恵みを得てきました。

特に、伊達政宗が川村孫兵衛に命じて行わせた改修工事によって、盛岡からの舟運が可能となってからは、石巻の港を経て江戸への海船につながる道として発達しました。八戸藩、盛岡藩、仙台藩、一関藩の米を中心にさまざまな物が行き交い、その集積地として川岸場が賑わいました。北上川は、明治時代に鉄道が開通するまで、物資輸送の大動脈として役割を果たし、流域の文化に大きな影響をもたらしたのです。

北上川の航路を描いた図を中心として、北上川の水上交通及び、そこから育まれた文化を紹介します。

## 関 連 行 事

## 講演会

〈第1回〉  
9月15日(土) 13:30~15:00  
「北上川の自然と文化」

講師  
辺見 清二氏  
水辺の復興・みらい館

〈第2回〉  
10月21日(日) 13:30~15:00  
「江戸時代の川と川船  
— 絵図に見る北上川 —」

講師  
小野寺 淳氏  
茨城大学教授

第1回・第2回とも 定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

## 史跡めぐり(北上川を学ぶ)

10月7日(日) ※詳細は、市広報9月1日号等でお知らせします。  
参加受付は9月1日から。

## 展示解説会 当館学芸員による。参加料/無料(入館料のみ必要)

9/15(土) 15:10~16:00 10/6(土) 10:30~11:30、13:30~14:30  
10/21(日) 15:10~16:00 11/3(土・祝) 10:30~11:30

## テーマ展

テーマ展  
1

# 画家の目のつけどころ

会期 4月28日④ — 6月24日⑥

★4月28日④、5月19日⑤、20日⑥は無料でご覧いただけます。

一関市ゆかりの洋画家である白石隆一、森本仁平、福井良之助の作品を紹介します。油彩画・水彩画・孔版画を展覧し、絵画制作の着眼点に迫ります。福井良之助のミニチュール(小さな細密画)ほか、初公開作品も展示します。

### 【アート鼎談】

「絵を蘇らせる人たちに聞く、ひみつの話」

講師/村松裕美氏(絵画修復家)  
赤迫徳浩氏((株)数寄和 所属  
額装師)

当館学芸員

日時/5月26日④13:30~15:00

定員/一般100名(要申込)

参加料/無料



白石隆一《構井屋のきょうり》  
水彩・紙 1950年

### 【スペシャルギャラリートーク】※入館料必要。

日時/5月26日④15:10~15:50

村松裕美氏 赤迫徳浩氏 当館学芸員

### 【ギャラリートーク】※入館料必要。

日時/5月12日④ 11:00~11:40、14:00~14:40

5月13日⑥ 11:00~11:40、14:00~14:40

5月27日⑥ 11:00~11:40、14:00~14:40

6月 9日④ 11:00~11:40、14:00~14:40

6月10日⑥ 11:00~11:40、13:00~13:30

講師/当館学芸員

テーマ展  
2

# 一関藩刀工 久保田宗明と大山明弘

— 寄贈刀剣類から —

会期 7月7日④ — 8月26日⑥

★7月7日④は無料でご覧いただけます。



刀 銘 一関宗明(小鳥丸造)

一関藩士で刀工の久保田宗明と大山明弘は師弟関係にあり、藩士の差料を数多く鍛え上げました。本展は開館以来ご寄贈いただいた両刀工の作品の数々を紹介いたします。

### 【展示解説会】 講師/当館学芸員

日時/7月 7日④ 11:00~11:30、13:30~14:00

7月 8日⑥ 11:00~11:30、13:30~14:00

7月22日⑥ 11:00~11:30、13:30~14:00

8月 5日⑥ 11:00~11:30、13:30~14:00

8月19日⑥ 11:00~11:30、13:30~14:00

※7月7日を除き入館料必要。

テーマ展  
3

# 縄文人のセンス

— 貝鳥貝塚出土の装身具 —

会期 平成31年1月26日④ — 3月24日⑥

★1月26日④は無料でご覧いただけます。

一関市花泉町に所在する貝鳥貝塚の出土品を中心に、貝や骨や角で作られた装身具をご紹介します。縄文人のセンスとそれを作り出す熟練した技術をご覧下さい。

### 【講演会】

「東日本の縄文貝塚と貝鳥貝塚  
— 可沼のほとりの人々 —」

講師/熊谷常正(盛岡大学文学部)

日時/1月26日④13:30~15:00

定員/一般100名(要申込)

参加料/無料

### 【展示解説会】 講師/当館学芸員

日時/1月26日④15:15~16:00

3月16日④10:30~11:15

13:30~14:15

※1月26日を除き入館料必要。



貝鳥貝塚出土土力工鹿角製品

## 講座

### 館長講座



①「骨寺村絵図に描かれた宇根社と  
首人の在家について(2)」

6月10日⑥ 13:30~15:00

②「葛西氏は北上川の舟運によって」

9月30日⑥ 13:30~15:00

③「秀衡と政宗 — 二人の奥州王の物語 —」

11月3日④⑥ 13:30~15:00

講師/入間田宣夫(館長)

定員/一般50名(要申込) 参加料/無料

### 和算講座 一般編

江戸時代に発達した日本独自の数学  
「和算」について、その歴史や特徴、  
初歩的な内容などを解説します。

①6/30②7/28③8/18④9/22

⑤10/27⑥11/17

の各④ 13:30~15:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



算法童子歌車

### 和算講座 研究編

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した  
『算法新書』を通して和算を学びます。

①5/19②6/30③7/28④8/18

⑤9/22⑥10/27⑦11/17⑧12/15

の各④ 10:30~12:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



算法新書

### 古文書講座 一伊達騒動を読む一

当館所蔵の「田村家記録」などから、  
仙台藩でおこったお家騒動「伊達騒動  
(寛文事件)」にせまります。

①5/20②6/3③6/17④7/1

の各⑥ 13:00~15:00

講師/当館学芸員

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)

田村家記録



### 講座「骨寺大学」



骨寺村荘園遺跡

一関市博物館では、大学等の研究者  
と連携して骨寺村荘園遺跡の多  
角的な調査研究を実施しています。  
これらの成果を広く公開するため、  
連続講座を実施します。全6回。

定員/50名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)

①「現地視察—絵図と現地の対比」

6月9日④ 13:00~17:00 広田純一氏(岩手大学教授)

②「幕末期西磐井の備荒貯蓄—山谷本寺・小猪岡の状況について」

7月21日④ 13:30~15:00 菊池勇夫氏(宮城学院女子大学名誉教授)

③「骨寺村の首人について」

9月2日⑥ 13:30~15:00 入間田宣夫(当館館長)

④「骨寺村の危機—争論・担当・押領」

10月6日④ 13:30~15:00 当館骨寺村荘園遺跡専門員

⑤「中世骨寺村の生業と祈り」

11月4日⑥ 13:30~15:00 菅田慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部  
名誉教授)

⑥「近世・近代における本寺の生業と温泉」

12月2日⑥ 13:30~15:00 竹原万雄氏(東北芸術工科大学准教授)

## 体験学習

### 🍷 グラスペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長が初めて日本に持ちこんだと言われています。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人たちも目を見張ったことでしょう。大人だけの参加も歓迎です。



5月3日(木祝)、5月4日(金祝)  
各日とも 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00  
講師/当館学芸員  
参加料/300円(汚れてもよい服装でお越し下さい。)  
定員/小学3年生以上各回15名  
(要申込、付き添いの保護者もご参加下さい。)

### 🍷 はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

#### ①江戸時代のマジックボックスのぞきめがねをつくらう

7月14日(土)  
13:30~16:00  
持ち物/500mlの牛乳パック1個  
定員/小学生以上親子25名(要申込)  
参加料/300円(材料費)



#### ②江戸時代のうつつ絵をつくらう

7月29日(日)  
10:00~12:00  
13:00~15:00の間随時  
(所要時間約1時間)  
定員/小学生以上50名(申込不要)  
参加料/50円(材料費)



#### ③拓本をとろう

8月11日(土)  
10:00~12:00  
13:00~15:00の間随時  
(所要時間約1時間)  
持ち物/なし  
汚れてもよい服装でお越し下さい。  
定員/小学生以上30名(申込不要)  
参加料/50円(材料費)



#### ④和紙を染めてみよう

1月5日(土)  
10:00~12:00  
13:00~15:00の間随時  
(所要時間約1時間)  
持ち物/なし  
汚れてもよい服装でお越し下さい。  
定員/小学生以上50名(申込不要)  
参加料/50円(材料費)



### 博物館でアートを楽しむ ~大理石模様の宝箱をつくらう~



水に浮かした絵の具をうつし取る技法で大理石模様の紙を作り、箱を飾ります。美術体験を楽しんでもらうことで博物館に親しんでいただく企画です。いわい美術振興協会会員を講師として迎えます。

6月24日(日) 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00  
講師/いわい美術振興協会会員、当館学芸員  
定員/中学生以上、各回15名(要申込) 参加料/300円  
※動きやすく、汚れてもよい服装でお越し下さい。

### 🍷 あなたも刀鍛冶修業



フィゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(炭の汚れや火花が散りますので、服装にご注意下さい。)

講師/早坂政義氏(刀匠)  
6月17日(日) 13:00~16:00  
定員/小学5年生以上15名(要申込)  
参加料/200円

### 🍷 和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



12月1日(土)に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。  
締め切り/1月20日(日)消印有効  
定員/どなたでも。応募者には3月末日までに解答集をお送りします。  
表彰式/3月3日(日) 13:30~15:00

## ツアー

### 🍷 美術館ツアー

当館テーマ展「画家の目のつけどころ」を鑑賞後、萬鉄五郎記念美術館企画展「萬鉄五郎が描いた肖像画 萬鉄五郎 死者の肖像」、岩手県立美術館企画展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリーック展」を見学に出かけます。博物館、美術館での作品鑑賞ができれば、児童・生徒の参加も歓迎です。小学生以下は保護者の付き添いをお願いします。

レクチャー/当館学芸員  
6月16日(土)9:00~17:30(予定。詳細は参加者に追ってお知らせします)  
博物館集合・解散 定員/60名(要申込)  
参加料/3,000円程度(鑑賞料と昼食代の実費です。交通費は主催者が負担)



ルネ・ラリーック  
《香水瓶》



ビエール=オーギュスト・ルノワール  
《泉(横たわる裸婦)》1905年  
バラの形の女性像》1912年

### 戊辰戦争150年を学ぶツアー

本年は、戊辰戦争開戦から150年にあたります。仙台市博物館で開催する展覧会その他ゆかりの地を見学します。

10月31日(日) 8:30博物館発~17:00博物館着(予定)  
定員/一般35名(要申込)  
参加料/実費  
詳細は、市広報9月1日号等でお知らせします。参加受付は、9月1日から。



戊辰戦争行軍図巻



このマークは小学生参加可能な行事です。

※講演会や体験学習などの申込みは、特に記載のない場合は、4月15日から随時電話にて受け付けます(TEL 0191-29-3180へ)。  
※その他、行事に関する詳細は博物館へお問い合わせ下さい。

# 常設展示

## 通史展示

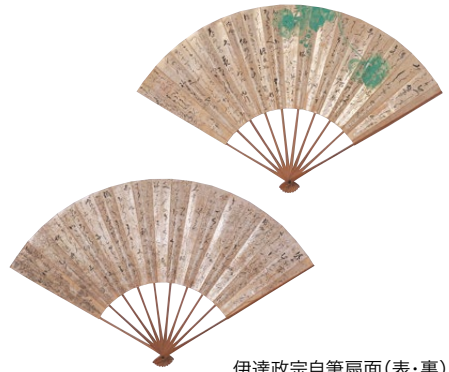
### 一関のあゆみ

過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、地域の歴史の流れと特色を紹介します。中世荘園骨寺村に関する資料もブースを設けて展示しています。



中世荘園骨寺村ブース



伊達政宗自筆扇面(表・裏)

## テーマ展示

### 1 舞草刀と刀剣

#### 日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。



【刀剣】太刀 銘 舞草

### 2 玄沢と蘭学

#### 蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。



【蘭学】蘭学階梯初版本



【和算】一関八幡神社算額(復元)

### 3 文彦と言海

#### 本格的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人と業績について、映像を用いながら紹介します。



【言海】言海初版本



ながめまもりよし  
**長沼守敬**

明治時代に活躍した一関出身の洋風彫刻家、長沼守敬の作品を紹介しています。

### 4 一関と和算

#### 和算隆盛の地一関

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。

## 入館料

区分	料金	団体 (20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※市内65歳以上の方と障がい者・介護者の方は、入館料が免除されます。

## 共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

## 無料入館日

企画展、テーマ展の開会初日、国際博物館の日の5/19(土)、20(日)、開館記念日の10/10(金)、東北文化の日の10/27(土)、28(日)、文化の日の11/3(土)は、**無料**で入館いただけます。

## 休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
資料整理のための休館日12/18(金)~12/28(金)  
年末年始12/29(土)~1/3(日)

開館時間 9:00~17:00(ただし、入館は16:30まで)

## 交通案内

### ■自動車

浦和IC⇄一関IC(約4時間30分 420km)  
仙台宮城IC⇄一関IC(約1時間 88km)  
盛岡IC⇄一関IC(約1時間 92km)  
一関ICより約7分(5km)

### ■JR東北新幹線

東京⇄一関(約1時間58分)  
盛岡⇄一関(約23分)  
仙台⇄一関(約21分)  
一関駅より車で約17分(9km)

※一関駅から路線バスで約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)



この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、一関市博物館 TEL 0191-29-3180 まで

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum>

一関市博物館

検索